

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【公表番号】特表2003-510261(P2003-510261A)

【公表日】平成15年3月18日(2003.3.18)

【出願番号】特願2001-526143(P2001-526143)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/00	(2006.01)
A 6 1 Q	5/00	(2006.01)
A 6 1 K	8/55	(2006.01)
A 6 1 K	8/58	(2006.01)
A 6 1 Q	5/06	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	7/06	
A 6 1 K	7/00	E
A 6 1 K	7/11	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成17年4月4日(2005.4.4)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

驚くべきことに、本出願人は、少なくとも一つの非塩基性で可溶化性の化学官能基を含む、重合していないか又は相対的に重合していない水溶性の有機ケイ素化合物をこれらの組成物中で使用することによって、組成物が累積して過剰となった場合の問題の危険性がなく有効な耐リンス性の化粧効果を有し、かつ有機溶媒を使用する必要がない化粧品組成物が配合可能であることを見出した。

これらの組成物を適用することにより、明白な化粧効果が生じ、累積した場合の問題がなく、組成物の効果がリンス及び洗浄に対して抵抗性が強いことが見出された。